

明るい未来への一步

市政報告③2

夏休みだからこそ、 本物の文化との出会いを！

横浜市会議員 市来えみこ

夏休みになると思い出したい」との激励です。部
す言葉があります。娘が活動や受験勉強で忙しい
高校生の時、仲間4人で中での挑戦は、全国大会

英語劇の全国大会に挑戦 優勝という結果だけでな
した際、恩師から「このく、自信や仲間との絆と
夏、一つでも『頑張っ いう一生の財産になりま
た』『壁を破った』『で した。

きるようになった』とい 子どもたちにとって夏
う思い出を刻んでもらい 休みは、いつもの自分か



いち き
市来えみこ

横浜市泉区生まれ(58歳)
青山学院大卒業/カルフォルニア州立大学
大学院言語学部修了/米国パラーガル
家族:娘、両親、愛犬
☎070-9053-1968
✉ichiki.emiko.yokohama@gmail.com
都筑区中川中央1-22-5 #402

会のテーマは、
「作り方を作る」です。



横浜美術館のリニュー
アル記念展を観覧

心から願い、横浜がその
挑戦を応援できるまちで
あり続けられるよう、こ
れからも取り組んでまい
ります。

ら一步踏み出せる特別な
時間です。その挑戦はス
ポーツだけではありませ
ん。美術館や音楽、演劇
など、本物の文化芸術と
の出会い、感性や創造
力、他者を思いやる心を
育み、「生きる力」の土
台になります。

私はこれまで議会で、

ぜひ、この夏はご家族

すべての子どもたちが家
庭環境に左右されること
なく文化体験に触れられ
る横浜を目指し、提案を
重ねてきました。その結
果、「横浜未来の文化ビ
ジョン」には子どもの文

化体験の充実に加え、私
が提案した多文化共生の
視点も盛り込まれまし
た。先日の一般質問で
は、市長からも「『横浜
ならではの』文化資源を
生かし、体験機会をさら
に充実させたい」との答
弁がありました。